

■After 建築名称 下段:英語名	創想舎(檜村徹設計室 事務所) Sosousha, TORU NARAMURA & Associates Architectural Office			
建築用途	大分類 事務所	小分類 オフィス		
改修設計者	有限会社 檜村徹設計室/檜村 徹			URL
所在地	岡山県倉敷市東町1-3			Google Map
改修年	2000年			After 通りに以前の雰囲気と新しい質を提供する北正面
建築規模	建築面積:126.82㎡/延床面積:198.19㎡ 1階床面積:102.94㎡/2階床面積:95.25㎡		撮影者 撮影:畑 亮 提供者 提供:檜村徹設計室	
掲載書誌	住宅建築別冊・55 民家は甦る 岡山「古民家再生工房」の軌跡		概要 after 母屋は国の登録文化財であるが、この建物は北東の角にあり、藍染めの納屋であった。そのため思い切った再生が可能であった。	
賞・選定	日本建築学会 中国支部 建築文化賞			
資料・その他	URL			
■Before 建築名称	楠戸邸 北納屋			概要 before 江戸後期のものと推測される藍染めの納屋。痛みも激しく、解体することも検討されていた建物である。
建築用途	大分類 その他	小分類 蔵		
■写真 Before 改修前の北側外観	After 色どりの木・土・鉄が作るヴァナキラー・モダンな2階のホール		After 庭から臨む	
				
撮影者 撮影・提供:檜村徹設計室 提供者	撮影者 撮影:畑 亮 提供者 提供:檜村徹設計室		撮影者 撮影:畑 亮 提供者 提供:檜村徹設計室	
■リノベーション内容	キーワード 用途変更、	内容 建物そのものの価値は納屋レベルのため、それほど高いものではなく、かえって思い切った再生が可能であった。そこで、コンセプトとして、世界のヴァナキラーな要素を対比せ、デザインの新しい触発と融合を試みってみた。 ヴァナキラーとは、「風土的な、土着的な」という意味である。この建物には日本のヴァナキラーである「民家」と、世界のヴァナキラーとしてモロッコのカスバにある土の塔とベニスにあるイタリアンスタッコの壁を取り入れ、二つのヴァナキラーの対比により、新しい感覚のデザインを生もうと目論んだのである。 2階部分に設計の作業スペースをとり、1階部分は私自身の部屋とオープン・サロンに。サロンはいろいろな催しや会合に活躍し、町と設計事務所との距離を近づけるように試みている。町に対して「開かれた場」で、町への想いを形に創造して発信していく場として「創想舎」と名付けた。		
■備考			関連資料画像	
■作成者 氏名/所属	檜村 徹/檜村徹設計室 主宰		作成協力	